

| 卒業必修 | 保育士必修 | 幼稚園教諭必修 | 選択 |
|---|--|--|-----------------------|
| 授業科目名： 教育課程と保育の 計画・評価 ナンバリング：2301 | 教員の免許状／保育士資格 取得のための必修科目 | 単位数：2単位 （半期）講義 | 担当教員名：花島慶子 担当形態：単独 |
| 科目／系列 | 教育の基礎的理解に関する科目／保育の内容・方法に関する科目 | | |
| 施行規則に定める 科目区分又は事項等 ／教科目 | 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。） ／保育の計画と評価 | | |
| 授業の到達目標及びテーマ 1. 保育・教育課程の意義や編成方法を理解できる。 2. 学校・地域や子どもの実情に応じて、柔軟に指導計画を編成できる。 3. 学校経営において、指導計画の編成（Plan）・実施（Do）・評価（Check）・改善（Action）という一連のサイクルを推進することの重要性を説明できる。 | | | |
| 授業の概要 保育・教育課程の意義や必要性を理解し、保育実践の具体的事例を基に幼稚園・保育所・認定こども園における保育者の役割について考察を深めていく。指導計画は、保育実践だけでなく責任実習においても不可欠なものとなるため、細かい部分まで思慮に富んだ指導計画を作成していく。また、実際に立てた指導計画に基づき、グループでマイクロティーチングを行うことで、保育を客観的に評価する視野を養うとともに、指導計画を適切に修正していくカリキュラム・マネジメントの意義を実践的に学んでいく。 | | | |
| 授業計画 第1回：オリエンテーション ー授業の進め方の説明、保育・教育課程とは何かー 第2回：保育・教育課程の意義 ー法令（幼稚園教育要領、保育所保育指針等）から読み解くー 第3回：保育・教育課程の歴史的変遷 ー保育所保育指針・幼稚園教育要領の改訂の流れと教育観ー 第4回：保育・教育課程の全体構造 ー保育・教育課程の体系化、指導計画の種類と位置づけー 第5回：長期の指導計画 ー子ども主体の指導計画の編成を現職者の保育記録から学ぶー 第6回：短期の指導計画 ー週案と日案の編成方法と具体的事例ー 第7回：部分指導案の編成方法 ー部分指導案の各観点の記載方法と具体的事例ー 第8回：年齢別の部分指導案の編成：乳児 ー乳児の部分指導案の配慮と留意点および作成ー 第9回：年齢別の部分指導案の編成：幼児 ー幼児の部分指導案の配慮と留意点および作成ー 第10回：保育評価の基礎理解 ー保育評価の種類、保育所児童保育要録と幼稚園幼児指導要録、PDCAサイクルによるカリキュラム・マネジメントー 第11回：マイクロティーチングの準備 ー各班で模擬保育のテーマ設定および部分指導案の作成ー 第12回：マイクロティーチングの実施（1回目） ー模擬保育の実践と反省、修正指導案の編成ー 第13回：マイクロティーチングの実施（2回目） ー1回目の修正指導案に基づき、再度、模擬保育の実践と反省ー 第14回：マイクロティーチングの成果発表 ーグループの成果発表と全体討議ー 第15回：授業のまとめ ー学習の振り返り、保育・教育課程の課題と展望ー 定期試験：筆記 | | 授業時間外の学習 ・教科書を熟読して授業に臨み、授業後は授業内容や自分の考えをノートにまとめて整理しておくこと。 ・第8・9回目は、各自が考えた制作やレクリエーションの部分指導案を作成する。そのため、図書館やインターネットなどを活用して、事前に資料を収集しておくこと。 ・第10～第15回目は、円滑な保育実践が行えるように、各グループで討議を重ね、計画的に教材準備や模擬保育の練習を進めること。 予習・復習には1～2時間程度の時間が必要である。 | |